

石川県立小松工業高等学校 機械システム科

学校基本情報（令和４年５月１日現在）

設置学科	機械システム科	在籍生徒数（全校生徒数）	227人（596人）
住所	〒923-8567 石川県小松市打越町丙67		
電話	TEL 0761-22-5481		
○特色ある教科や授業			
1年 実習を通して機械技術の知識をもとに品質管理の基礎を学習し、安全教育を行う。			
2年 図面の読み取りや機械加工について専門的に学習する。職場実習により生産現場を体験する。			
3年 専門教科の学習や実習に加え、機械加工技術について専門技術者に意見を聞きアドバイスを受けて学習する。 長期型企業実習に参加し、ものづくりに関わる職業観を育成する。			
○学校行事			
（1学期）遠足、スポーツテスト、壮行式（総体・総文・野球部等）、工場見学、インターンシップ			
（2学期）体育祭、マラソン大会、修学旅行、工業祭、球技大会			
（3学期）スキー実習、課題研究発表会、球技大会			
○部活動			
（運動部）ハンドボール・バレーボール・テニス・ソフトテニス・ウエイトリフティング・野球・ボウリング・山岳 陸上競技・少林寺拳法・バスケットボール・バドミントン・弓道・柔道・剣道・サッカー・卓球・スキー			
（文化部）将棋・吹奏楽・新聞・美術・茶道・インターアクト・放送			
（工業部）機械研究・電気情報・建設・材料化学			
○進路状況			
（令和3年度卒業生の主な進路先）			
就職：アイナックス稲本(株)白山工場、(株)石川トヨペットカローラ、(株)石野製作所、エヌジーケイ・セラミックデバイス (株)、加賀東芝エレクトロニクス(株)、鶴盛工業(株)、(株)金沢村田製作所、(株)共和工業所、小太郎漢方製薬(株)美川工場、小 松ウオール工業(株)、小松シャリング(株)、(株)小松製作所栗津工場、コマツ物流(株)中部物流部、コマニー(株)、澁谷工業 (株)、(株)ソディック加賀事業所、大京(株)、大同工業(株)、(株)タガミ・イーエクス、タケダ機械(株)、DIC(株)北陸工場、(株)月 星製作所、(株)東振テクニカル、東和(株)、トヨタエルアンドエフ石川(株)、トヨタ自動車(株)、(株)トランテックス、長津工 業(株)、中村留精密工業(株)、日吉工業(株)、富士工業(株)、村田機械(株)加賀工場、(株)室戸鉄工所、(株)ヨネモリ、プロクリー ナー、ホクキュー建設、石川県森林組合連合会、宗教法人安宅住吉神社、陸上自衛隊、大阪府警、小松市消防本部			
進学：金沢工業大学、金沢学院大学、金沢星稜大学、明治大学、高山自動車短期大学、金沢科学技術大学校、金沢情報 ITクリエイター専門学校			

３ つ の 方 針

○このような生徒を求めています（生徒募集方針）
・ものづくりに興味関心があり、意欲的に学習に取り組むことのできる生徒。 ・規則正しい生活を送り、自らの健康を管理することのできる生徒。 ・中学校時代に部活動や学校行事に熱心に取り組んだ生徒。
○このような学びを行います（教育課程編成・実施方針）
・全科目のうち専門科目の割合は、１年（２４％）２年（５５％）３年（６２％）に設定。 ただし、進学希望者は共通教科の科目選択により、２年（４１％）３年（４８％）となる。 ・専門科目の座学及び実習を通して、専門分野に関する基礎的な知識・技能を習得する。 ・全学年を通して「探究活動プロジェクト」を実施し、思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、主体的に学びに向かう力、人間性等の涵養を図る。 ・企業見学・企業実習等の体験的な活動や専門の資格・検定試験の取得に積極的に取り組む。
○卒業までにこのような生徒を育てます（生徒育成方針）
・専門技術の錬磨を図り、積極的に学習に取り組み、諦めずに学習する態度を身に付けた生徒。 ・協働的な学習活動の中で、探究心を持ち、創意工夫して、自分の考えを発言できる生徒。 ・自ら目標を設定したり、問題を発見したりし、目標の達成や問題の解決に向けて、粘り強く取り組むことができる生徒。

石川県立小松工業高等学校 電気科

学校基本情報（令和４年５月１日現在）

設置学科	電気科	在籍生徒数（全校生徒数）	１７１人（５９６人）
住所	〒923-8567 石川県小松市打越町丙 6 7		
電話	TEL 0761-22-5481		
○特色ある教科や授業			
1 ～ 2 年「電気基礎」電気に関する基礎的な知識と計算方法について学習する。			
1 ～ 3 年「実習」電気計測・電子計測・電気工事・電子工作・プログラミング等実習を行う。			
3 年「課題研究」電気・電子・情報に関する課題設定から課題解決に至るまでの協働による探究活動を行う。			
○学校行事			
（1 学期）遠足、スポーツテスト、壮行式（総体・総文・野球部等）、工場見学、インターンシップ			
（2 学期）体育祭、マラソン大会、修学旅行、工業祭、球技大会			
（3 学期）スキー実習、課題研究発表会、球技大会			
○部活動			
（運動部）ハンドボール・バレーボール・テニス・ソフトテニス・ウエイトリフティング・野球・ボウリング・山岳 陸上競技・少林寺拳法・バスケットボール・バドミントン・弓道・柔道・剣道・サッカー・卓球・スキー			
（文化部）将棋・吹奏楽・新聞・美術・茶道・インターアクト・放送			
（工業部）機械研究・電気情報・建設・材料化学			
○進路状況			
（令和 3 年度卒業生の主な進路先）			
就職：ＩＲいしかわ鉄道㈱、イオンディライト㈱、㈱小田電気商会、加賀東芝エレクトロニクス㈱ 4 名、㈱金沢村田製作所、技研㈱、 ㈱共和工業所、㈱小松製作所栗津工場、㈱小松電業所、小松パワートロン㈱、㈱小松村田製作所、サンコーエンジニアリング ㈱、シグマ電機㈱、㈱翔志（らーめん世界）、昭和電気北陸㈱、㈱ソディック加賀事業所、第一電機工業㈱、大京㈱、大同工業 ㈱、㈱大日製作所、㈱高崎電設、竹内電気工事㈱、㈱谷本電機、東亜電機工業㈱、東海電設㈱、東京プロセスサービス㈱、鳥 羽システム㈱、㈱鳴和電気商会、パナソニック㈱CNS 社プロセスオートメーション事業部、㈱富士精工本社、㈱別川製作所、 ㈱ほくつう、ホクキュー建設、㈱北陸エレテック、北電テクノサービス㈱、北陸鉄道㈱、北陸電気工事㈱、北陸電気保安協会本 店、北陸電力㈱、北話エンジニアリング㈱、村田機械㈱加賀工場、米沢電気工事㈱、いすゞ自動車㈱、㈱関電工、㈱きんでん、 能美市消防本部、航空自衛隊			
進学：富山大学、金沢工業大学、福井工業大学、大同大学、大阪芸術大学、金沢科学技術大学校、金沢情報 IT クリエイター専門学 校、東京アカデミー金沢校、ECC コンピューター専門学校、日本電子専門学校			

３ つ の 方 針

○このような生徒を求めています（生徒募集方針）
・ものづくりに興味関心があり、意欲的に学習に取り組むことのできる生徒。 ・規則正しい生活を送り、自らの健康を管理することのできる生徒。 ・中学校時代に部活動や学校行事に熱心に取り組んだ生徒。
○このような学びを行います（教育課程編成・実施方針）
・全科目のうち専門科目の割合は、１年（２４％）２年（５５％）３年（６２％）に設定。 ただし、進学希望者は共通教科の科目選択により、２年（４１％）３年（４８％）となる。 ・専門科目の座学及び実習を通して、専門分野に関する基礎的な知識・技能を習得する。 ・全学年を通して「探究活動プロジェクト」を実施し、思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、主体的に学びに向かう力、人間性等の涵養を図る。 ・企業見学・企業実習等の体験的な活動や専門の資格・検定試験の取得に積極的に取り組む。
○卒業までにこのような生徒を育てます（生徒育成方針）
・専門技術の錬磨を図り、積極的に学習に取り組み、諦めずに学習する態度を身に付けた生徒。 ・協働的な学習活動の中で、探究心を持ち、創意工夫して、自分の考えを発言できる生徒。 ・自ら目標を設定したり、問題を発見したりし、目標の達成や問題の解決に向けて、粘り強く取り組むことができる生徒。

石川県立小松工業高等学校 建設科

学校基本情報（令和４年５月１日現在）

設置学科	建設科	在籍生徒数（全校生徒数）	１０３人（５９６人）
住所	〒923-8567 石川県小松市打越町丙 6 7		
電話	TEL 0761-22-5481		
○特色ある教科や授業			
1 年 建設業に関する基礎的な知識と技術について学習する。建設業協会と連携して学習する。			
2 年 建築コース・土木コースに分かれて各専門教科を学習する。地域企業と連携し体験学習する。			
3 年 建築・土木の先端技術である 3 D 設計データの作成運用を協働して総合的に学習する。			
○学校行事			
（1 学期）遠足、スポーツテスト、壮行式（総体・総文・野球部等）、工場見学、インターンシップ			
（2 学期）体育祭、マラソン大会、修学旅行、工業祭、球技大会			
（3 学期）スキー実習、課題研究発表会、球技大会			
○部活動			
（運動部）ハンドボール・バレーボール・テニス・ソフトテニス・ウエイトリフティング・野球・ボウリング・山岳 陸上競技・少林寺拳法・バスケットボール・バドミントン・弓道・柔道・剣道・サッカー・卓球・スキー			
（文化部）将棋・吹奏楽・新聞・美術・茶道・インターアクト・放送			
（工業部）機械研究・電気情報・建設・材料化学			
○進路状況			
（令和 3 年度卒業生の主な進路先）			
就職：石黒建設㈱、一松建設㈱、㈱ウエストサークル、㈱江口組、加越建設㈱、北川ヒューテック㈱、小中出建設㈱、 ㈱駒沢建工、㈱小松製作所栗津工場、酒井工業㈱、㈱シモアラ、太陽工業㈱、㈱タケノ加賀店、㈱タッセイ、㈱ 中東、㈱寺田鉄工建設、㈱豊蔵組、㈱北都鉄工、㈱向出組、㈱ヤマウチ産業、㈱吉光組、㈱岡部			
進学：金沢工業大学、金沢学院大学、名城大学、金沢科学技術大学校、京都建築大学校、専門学校職藝学院、浅野工学 専門学校			

３ つ の 方 針

○このような生徒を求めています（生徒募集方針）
・ものづくりに興味関心があり、意欲的に学習に取り組むことのできる生徒。 ・規則正しい生活を送り、自らの健康を管理することのできる生徒。 ・中学校時代に部活動や学校行事に熱心に取り組んだ生徒。
○このような学びを行います（教育課程編成・実施方針）
・全科目のうち専門科目の割合は、１年（２４％）２年（５５％）３年（６２％）に設定。 ただし、進学希望者は共通教科の科目選択により、２年（４１％）３年（４８％）となる。 ・専門科目の座学及び実習を通して、専門分野に関する基礎的な知識・技能を習得する。 ・全学年を通して「探究活動プロジェクト」を実施し、思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、主体的に学びに向かう力、人間性等の涵養を図る。 ・企業見学・企業実習等の体験的な活動や専門の資格・検定試験の取得に積極的に取り組む。
○卒業までにこのような生徒を育てます（生徒育成方針）
・専門技術の錬磨を図り、積極的に学習に取り組み、諦めずに学習する態度を身に付けた生徒。 ・協働的な学習活動の中で、探究心を持ち、創意工夫して、自分の考えを発言できる生徒。 ・自ら目標を設定したり、問題を発見したりし、目標の達成や問題の解決に向けて、粘り強く取り組むことができる生徒。

石川県立小松工業高等学校 材料化学科

学校基本情報（令和４年５月１日現在）

設置学科	材料化学科	在籍生徒数（全校生徒数）	95人（596人）
住所	〒923-8567 石川県小松市打越町丙67		
電話	TEL 0761-22-5481		
○特色ある教科や授業			
1～3年「工業化学」3年間を通して、化学工業に関する基礎的な知識と技術について学習する。 2～3年「実習」有機合成、成型加工、環境分析、機器分析、プラント、3DCAD等を実習する。 3年「課題研究」材料化学に関する課題設定から課題解決に至るまでの協働による探究活動を行う。			
○学校行事			
（1学期）遠足、スポーツテスト、壮行式（総体・総文・野球部等）、工場見学、インターンシップ （2学期）体育祭、マラソン大会、修学旅行、工業祭、球技大会 （3学期）スキー実習、課題研究発表会、球技大会			
○部活動			
（運動部）ハンドボール・バレーボール・テニス・ソフトテニス・ウエイトリフティング・野球・ボウリング・山岳 陸上競技・少林寺拳法・バスケットボール・バドミントン・弓道・柔道・剣道・サッカー・卓球・スキー （文化部）将棋・吹奏楽・新聞・美術・茶道・インターアクト・放送 （工業部）機械研究・電気情報・建設・材料化学			
○進路状況			
（令和3年度卒業生の主な進路先） 就職：アイティエムコーポレーション㈱、㈱石野製作所、EIZO㈱、エヌジーケイ・セラミックデバイス㈱、大阪有機化学工業㈱、オリエンタルチエン工業㈱、小松電気化学工業㈱、小松マテーレ㈱、共和産業㈱、サンエス㈱、 ㈱Ci ロジスティクスセンター、㈱ジーテック、シグマ光機㈱、伸晃化学㈱、㈱ソディックエフ・ティ EMG 事業部、大和紡績㈱美川工場、ダウ・東レ㈱小松工場、高松油脂㈱北陸工場、辰巳化学㈱、DIC㈱北陸工場、㈱東振精機、ノシロ合繊㈱、㈱ビーケープラス、東野産業㈱、日吉工業㈱、㈱ロン・リバイス小松工場 進学：金沢工業大学、金城大学短期大学部、小松市医師会附属小松看護学院、金沢情報 IT クリエイター専門学校、 国際医療福祉専門学校七尾校、石川県理容美容専門学校			

3 つ の 方 針

○このような生徒を求めています（生徒募集方針）
・ものづくりに興味関心があり、意欲的に学習に取り組むことのできる生徒。 ・規則正しい生活を送り、自らの健康を管理することのできる生徒。 ・中学校時代に部活動や学校行事に熱心に取り組んだ生徒。
○このような学びを行います（教育課程編成・実施方針）
・全科目のうち専門科目の割合は、1年（24％）2年（55％）3年（62％）に設定。ただし、進学希望者は共通教科の科目選択により、2年（41％）3年（48％）となる。 ・専門科目の座学及び実習を通して、専門分野に関する基礎的な知識・技能を習得する。 ・全学年を通して「探究活動プロジェクト」を実施し、思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、主体的に学びに向かう力、人間性等の涵養を図る。 ・企業見学・企業実習等の体験的な活動や専門の資格・検定試験の取得に積極的に取り組む。
○卒業までにこのような生徒を育てます（生徒育成方針）
・専門技術の錬磨を図り、積極的に学習に取り組み、諦めずに学習する態度を身に付けた生徒。 ・協働的な学習活動の中で、探究心を持ち、創意工夫して、自分の考えを発言できる生徒。 ・自ら目標を設定したり、問題を発見したりし、目標の達成や問題の解決に向けて、粘り強く取り組むことができる生徒。